

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の5第1項の表の第1号

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2025年8月14日

【中間会計期間】 第102期中(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

【会社名】 東京都競馬株式会社

【英訳名】 TOKYOTOKEIBA CO.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 多羅尾光睦

【本店の所在の場所】 東京都大田区大森北一丁目6番8号

【電話番号】 03(5767)9055

【事務連絡者氏名】 総務部長 大森卓也
財務部長 松本充弘

【最寄りの連絡場所】 東京都大田区大森北一丁目6番8号

【電話番号】 03(5767)9055

【事務連絡者氏名】 総務部長 大森卓也
財務部長 松本充弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第101期 中間連結会計期間	第102期 中間連結会計期間	第101期
会計期間		自 2024年1月1日 至 2024年6月30日	自 2025年1月1日 至 2025年6月30日	自 2024年1月1日 至 2024年12月31日
売上高	(千円)	18,662,719	19,298,649	40,443,953
経常利益	(千円)	6,542,984	7,077,022	13,912,458
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	(千円)	4,487,249	4,825,578	9,706,456
中間包括利益又は包括利益	(千円)	4,757,344	4,871,359	10,060,928
純資産額	(千円)	87,763,947	94,069,958	91,142,108
総資産額	(千円)	118,654,200	123,579,812	122,405,859
1株当たり中間(当期) 純利益	(円)	164.81	180.79	359.94
潜在株式調整後1株当たり 中間(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	73.9	76.0	74.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	4,593,435	9,416,548	16,101,185
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	6,353,123	3,610,813	8,633,165
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	3,060,272	2,750,647	5,361,335
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	(千円)	8,940,496	18,922,229	15,867,141

- (注) 1. 当社は、中間連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当中間連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当中間連結会計期間において、当半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復が期待されましたが、米国の通商政策や長引く物価高の影響により、依然として経済の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、全国の地方競馬においては、勝馬投票券売上が前年同期を上回り、当社グループにおきましては、公営競技事業におけるインターネット投票サービスS P A T 4（南関東4競馬場在宅投票システム）の売上が増加したほか、各セグメントにおける新施設の稼働も寄与し、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当社グループにおける当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は19,298百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は7,079百万円（同8.4%増）、経常利益は7,077百万円（同8.2%増）、また親会社株主に帰属する中間純利益は、4,825百万円（同7.5%増）となりました。

なお、当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中（夏季）に年間入場者の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価の割合が著しく高くなる傾向にあります。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[公営競技事業]

大井競馬におきましては46日開催されました。この間、J R A交流厩舎の改修を行ったほか、施設の機能強化に努めてまいりました。

S P A T 4では、全国の地方競馬を延べ618日、7,136レース発売いたしました。この間、S P A T 4公式アプリの新機能として「推し馬機能」をリリースし、既存会員の満足度向上を図るとともに、新規入会者を対象としたキャンペーンを展開いたしました。このほかリアルイベント、W e b配信及び各種ポイントキャンペーンの充実に取り組んだこともあり、売上ならびに会員数は順調に増加いたしました。

伊勢崎オートレースにおきましては64日開催され、他場の場外発売は延べ153日実施されました。伊勢崎オートレースの売上は、アフター5ナイター開催を含む本場開催が11日増により前年同期を上回ったものの、併設する地方競馬場外発売所「オフト伊勢崎」及び中央競馬場外発売所「J-PLACE伊勢崎」の売上は、入場者数の減少によりいずれも前年同期を下回りました。

以上の結果、公営競技事業の売上高は14,550百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は6,206百万円（同6.9%増）となりました。

[遊園地事業]

東京サマーランドにおきましては、夏季期間に先立ち、ゴールデンウィーク限定で屋外プールエリアの一部を先行オープンし、親子で楽しめる各種イベントを開催するなど、集客強化に努めました。また、5月31日からは土日限定で屋外プールエリアを一部開放するとともに、近隣の市町村民を対象とした感謝デーを開催し、さらなる集客の増加を図りました。加えて6月には「スパリゾートハワイアンズ」とのコラボレーション企画を実施し、両施設を楽しめる共通チケットの販売や、交流イベントを展開いたしました。

このほか、わんダフルネイチャーヴィレッジにおきましては、今回で49回目となる「あじさいまつり」を開催し、園内のハイキングコースに広がる約15,000株のあじさいを多くのお客様にお楽しみいただきました。

以上の結果、東京サマーランド及び各施設の入場人員は30万人（前年同期比0.1%減）となり、遊園地事業の売上高は692百万円（前年同期比2.9%増）となりました。なお、休園期間における園内整備費の増加等により、セグメント損失は502百万円（前年同期はセグメント損失463百万円）となりました。

[倉庫賃貸事業]

倉庫賃貸事業におきましては、2024年3月に竣工した「習志野茜浜2号倉庫」が順調に稼働し、勝島第2地区のマルチテナント型倉庫につきましても引き続き高い稼働率を維持いたしました。

また、従前より着手している勝島エリアの一部倉庫における屋上防水工事についても引き続き実施し、施設の長期的な機能維持に努めております。

以上の結果、倉庫賃貸事業の売上高は3,021百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント利益は2,007百万円（同11.6%増）となりました。

[サービス事業]

サービス事業におきましては、空調設備事業の設備工事収入が減少したものの、2024年3月に完成した「ウィラ大井2号館」のテナント収入等が業績を下支えし、全体としては堅調に推移いたしました。

また、4月にウィラ大井にて開催した「スプリングフェスタ2025」では、ワークショップやファミリーコンサートなどの各種イベントを実施し、多くのお客様にご来場いただくとともに、地域交流の促進にも寄与いたしました。

以上の結果、サービス事業の売上高は1,116百万円（前年同期比3.4%減）となり、セグメント利益は117百万円（同68.6%増）となりました。

区 分	売上高		セグメント利益又は セグメント損失()	
	金額(百万円)	前年同期比	金額(百万円)	前年同期比
公営競技事業	14,550	3.2%	6,206	6.9%
遊園地事業	692	2.9%	502	
倉庫賃貸事業	3,021	8.6%	2,007	11.6%
サービス事業	1,116	3.4%	117	68.6%
セグメント間取引の消去等	83		749	
合 計	19,298	3.4%	7,079	8.4%

(2) 財政状態の状況

当中間連結会計期間末における資産合計額は、前連結会計年度末に比べ1,173百万円増加し、123,579百万円となりました。これは、有形固定資産が1,115百万円、無形固定資産が650百万円減少したものの、現金及び預金が3,055百万円増加したことが主な要因であります。

当中間連結会計期間末における負債合計額は、前連結会計年度末に比べ1,753百万円減少し、29,509百万円となりました。これは未払金が1,331百万円、長期借入金が850百万円減少したことが主な要因であります。

当中間連結会計期間末における純資産合計額は、前連結会計年度末に比べ2,927百万円増加し、94,069百万円となりました。これは期末配当金1,948百万円の剰余金処分があった一方、親会社株主に帰属する中間純利益4,825百万円の計上により、利益剰余金が2,877百万円増加したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の74.4%から76.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,055百万円増加し、18,922百万円となりました。これは、税金等調整前中間純利益7,193百万円、減価償却費3,241百万円に対し、法人税等の支払額2,402百万円、有形固定資産の取得による支出1,661百万円、無形固定資産の取得による支出373百万円、配当金の支払額1,940百万円等による支出が主な要因であります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、9,416百万円の収入(前中間連結会計期間は4,593百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前中間純利益7,193百万円、減価償却費3,241百万円に対し、仕入債務の減少258百万円、法人税等の支払額2,402百万円等の支出が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、3,610百万円の支出(前中間連結会計期間は6,353百万円の支出)となりました。これは、有価証券の純増減額による支出1,600百万円、有形固定資産の取得による支出1,661百万円、無形固定資産の取得による支出373百万円等が主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,750百万円の支出(前中間連結会計期間は3,060百万円の支出)となりました。これは、長期借入金の返済による支出850百万円、配当金の支払額1,940百万円等が主な要因であります。

(4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当中間連結会計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

重要な設備計画の完了
該当事項はありません。

重要な設備の新設等
該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

区分	契約先	契約内容	契約期間
大井競馬場	特別区競馬組合	賃貸借契約	2025年4月1日から 2026年3月31日まで

(注) 賃貸料：原則として勝馬投票券売上高の4.5%

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	中間会計期間 末現在発行数(株) (2025年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2025年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	28,764,854	28,764,854	東京証券取引所 プライム市場	・権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる 株式 ・単元株式数100株
計	28,764,854	28,764,854		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2025年1月1日～ 2025年6月30日		28,764,854		10,586,297		6,857,668

(5) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	2025年6月30日現在
			発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する 所有株式数の割合(%)
東京都	東京都新宿区西新宿二丁目8番1号	79,916	29.94
特別区競馬組合	東京都品川区勝島二丁目1番2号	36,762	13.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区赤坂一丁目8番1号 赤坂インターシティAIR	19,315	7.23
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番12号	7,816	2.92
株式会社東京ドーム	東京都文京区後楽一丁目3番61号	6,534	2.44
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	10 HAREWOOD AVENUE LONDON NW1 6AA (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	6,025	2.25
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	PLUMTREE COURT, 25 SHOE LANE, LONDON EC4A 4AU, U.K. (東京都港区虎ノ門二丁目6番1号 虎ノ門ヒルズステーションタワー)	4,739	1.77
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	東京都千代田区大手町一丁目9番7号 大手町フィナンシャルシティサウスタワー	4,327	1.62
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号	2,749	1.03
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	BAHNHOFSTRASSE 45, 8001 ZURICH, SWITZERLAND (東京都新宿区新宿六丁目27番30号)	2,536	0.95
計		170,723	63.96

- (注) 1. 株式数は百株未満、株式数の割合は小数第2位未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式2,073,066株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合7.20%)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
3. 2023年3月30日付で公衆の縦覧に供されております大量保有報告書において、オアシス マネジメント カンパニー リミテッド(Oasis Management Company Ltd.)が、2023年3月28日現在で以下の当社株式を保有している旨が記載されておりますが、当社として2025年6月30日時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。上記大株主の状況は、株主名簿の記載内容に基づいて記載しております。

なお、その大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (百株)	株券等保有割合 (%)
オアシス マネジメント カンパニー リミテッド (Oasis Management Company Ltd.)	ケイマン諸島、KY1-1104、グランド・ケイマン、ウグランド・ハウス、私書箱309、メイブルズ・コーポレート・サービス・リミテッド	24,109	8.38

4. 2024年9月4日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、野村證券株式会社及び共同保有者であるノムラ インターナショナル ピーエルシー (NOMURA INTERNATIONAL PLC)、ノムラ セキュリテーズ インターナショナル (NOMURA SECURITIES INTERNATIONAL, Inc.)、野村アセットマネジメント株式会社が、2024年8月30日現在で以下の当社株式を保有している旨が記載されておりますが、当社として2025年6月30日時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。上記大株主の状況は、株主名簿の記載内容に基づいて記載しております。

なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住 所	保有株券等の数 (百株)	株券等保有割合 (%)
野村證券株式会社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号	5,032	1.75
ノムラ インターナショナル ピーエルシー (NOMURA INTERNATIONAL PLC)	1 Angel Lane, London EC4R 3AB, United Kingdom	3,755	1.31
ノムラ セキュリテーズ インターナショナル (NOMURA SECURITIES INTERNATIONAL, Inc.)	Worldwide Plaza 309 West 49th Street New York, New York 10019-7316		
野村アセットマネジメント株式会社	東京都江東区豊洲二丁目2番1号	3,536	1.23
計		12,323	4.28

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2025年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,073,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,523,100	265,231	
単元未満株式	普通株式 168,754		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	28,764,854		
総株主の議決権		265,231	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式700株(議決権7個)が含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式66株が含まれております。

【自己株式等】

2025年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 東京都競馬株式会社	東京都大田区大森北 一丁目6番8号	2,073,000		2,073,000	7.21
計		2,073,000		2,073,000	7.21

(注) 2025年3月26日開催の取締役会決議により、2025年4月25日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式2,200株を処分しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 中間連結財務諸表の作成方法について

当社の中間連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号。以下「連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

また、当社は、金融商品取引法第24条の5第1項の表の第1号の上欄に掲げる会社に該当し、連結財務諸表規則第1編及び第3編の規定により第1種中間連結財務諸表を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間(2025年1月1日から2025年6月30日まで)に係る中間連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所による期中レビューを受けております。

1 【中間連結財務諸表】

(1) 【中間連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,040,220	19,095,330
受取手形、営業未収入金及び契約資産	4,864,409	4,339,609
有価証券	1,400,000	3,000,000
棚卸資産	273,114	295,777
立替金	388,381	313,921
その他	923,646	169,519
流動資産合計	23,889,771	27,214,158
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	28,792,822	28,223,030
建物附属設備（純額）	8,644,900	8,286,806
構築物（純額）	9,159,732	9,388,724
機械装置及び運搬具（純額）	1,111,995	969,465
土地	32,554,974	32,465,774
建設仮勘定	182,898	384,353
信託建物（純額）	1,176,016	1,144,939
信託建物附属設備（純額）	118,502	106,725
信託土地	2,174,126	2,174,126
その他（純額）	3,069,627	2,725,886
有形固定資産合計	86,985,596	85,869,833
無形固定資産		
ソフトウェア	6,228,041	5,599,545
ソフトウェア仮勘定	22,330	-
無形固定資産合計	6,250,371	5,599,545
投資その他の資産		
投資有価証券	2,258,269	2,275,596
長期前払費用	27,738	95,062
繰延税金資産	1,908,014	1,877,596
長期立替金	1,001,333	563,763
その他	84,762	84,256
投資その他の資産合計	5,280,119	4,896,275
固定資産合計	98,516,087	96,365,653
資産合計	122,405,859	123,579,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,170,657	911,769
短期借入金	16,600	66,640
1年内返済予定の長期借入金	1,700,000	1,700,000
未払金	1,695,073	363,278
未払法人税等	2,598,301	2,511,678
未払消費税等	43,477	965,511
賞与引当金	105,869	109,864
ポイント引当金	985,646	1,068,011
災害損失引当金	46,000	-
その他	1,334,875	1,086,429
流動負債合計	9,696,501	8,783,184
固定負債		
社債	10,000,000	10,000,000
長期借入金	7,450,000	6,600,000
受入敷金保証金	2,429,076	2,450,613
退職給付に係る負債	1,245,369	1,237,931
資産除去債務	396,777	399,763
繰延税金負債	33,301	26,915
その他	12,724	11,445
固定負債合計	21,567,249	20,726,669
負債合計	31,263,750	29,509,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,791,714	6,792,464
利益剰余金	81,527,687	84,404,845
自己株式	8,503,132	8,498,971
株主資本合計	90,402,567	93,284,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	625,584	629,146
その他の包括利益累計額合計	625,584	629,146
非支配株主持分	113,956	156,175
純資産合計	91,142,108	94,069,958
負債純資産合計	122,405,859	123,579,812

(2) 【中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書】

【中間連結損益計算書】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)
売上高	1 18,662,719	1 19,298,649
売上原価	1 11,106,601	1 11,138,495
売上総利益	7,556,117	8,160,153
販売費及び一般管理費	2 1,023,889	2 1,080,438
営業利益	6,532,227	7,079,714
営業外収益		
受取利息	1,759	7,698
受取配当金	17,540	19,136
雇用調整助成金等	3,400	400
その他	16,197	8,116
営業外収益合計	38,897	35,351
営業外費用		
支払利息	20,697	37,226
支払手数料	6,413	-
その他	1,029	817
営業外費用合計	28,140	38,044
経常利益	6,542,984	7,077,022
特別利益		
工事負担金等受入額	-	2,500
補助金収入	152,000	64,500
固定資産売却益	-	26,374
受取保険金	-	23,237
特別利益合計	152,000	116,612
税金等調整前中間純利益	6,694,984	7,193,635
法人税、住民税及び事業税	2,058,625	2,315,570
法人税等調整額	130,994	10,267
法人税等合計	2,189,619	2,325,837
中間純利益	4,505,364	4,867,797
非支配株主に帰属する中間純利益	18,115	42,219
親会社株主に帰属する中間純利益	4,487,249	4,825,578

【中間連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)
中間純利益	4,505,364	4,867,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	251,979	3,561
その他の包括利益合計	251,979	3,561
中間包括利益	4,757,344	4,871,359
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,739,229	4,829,140
非支配株主に係る中間包括利益	18,115	42,219

(3) 【中間連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月 30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月 30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,694,984	7,193,635
減価償却費	3,052,576	3,241,338
賞与引当金の増減額(は減少)	3,751	3,995
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	63,406	7,437
ポイント引当金の増減額(は減少)	989	82,365
受取利息及び受取配当金	19,299	26,834
支払利息	20,697	37,226
有形固定資産売却損益(は益)	-	26,374
売上債権の増減額(は増加)	2,897,708	524,799
棚卸資産の増減額(は増加)	18,260	22,662
長期立替金の増減額(は増加)	475,652	437,570
仕入債務の増減額(は減少)	564,505	258,888
未払消費税等の増減額(は減少)	527,389	922,034
その他	431,240	271,918
小計	5,726,840	11,828,846
利息及び配当金の受取額	19,299	26,834
利息の支払額	20,124	36,940
法人税等の支払額	1,132,581	2,402,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,593,435	9,416,548
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	75,999	22
有価証券の純増減額(は増加)	2,000,000	1,600,000
有形固定資産の取得による支出	5,901,834	1,661,847
有形固定資産の売却による収入	-	115,574
無形固定資産の取得による支出	2,517,511	373,738
その他	9,776	90,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,353,123	3,610,813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	33,440	50,040
長期借入れによる収入	2,000,000	-
長期借入金の返済による支出	750,000	850,000
自己株式の取得による支出	2,143,729	4,547
配当金の支払額	1,636,511	1,940,644
預け金の増減額(は増加)	555,220	-
その他	8,251	5,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,060,272	2,750,647
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,819,960	3,055,087
現金及び現金同等物の期首残高	13,760,457	15,867,141
現金及び現金同等物の中間期末残高	1 8,940,496	1 18,922,229

【注記事項】

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結貸借対照表関係)

棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
商品	41,377千円	63,157千円
未成工事支出金	29,096千円	24,788千円
原材料及び貯蔵品	202,640千円	207,830千円

(中間連結損益計算書関係)

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)及び
 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(売上高等の季節的変動)

1 当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中(夏季)に年間入場者の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間に係る売上高及び売上原価の割合が著しく高くなる傾向にあります。

2 販売費及び一般管理費に含まれる主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
役員報酬及び従業員給与等	441,299千円	432,072千円
退職給付費用	44,007千円	51,568千円
福利厚生費	93,358千円	102,090千円
租税公課	143,411千円	152,989千円
減価償却費	12,915千円	11,948千円

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)
現金及び預金勘定	9,265,570千円	19,095,330千円
預入期間が3か月を 超える定期預金	325,073千円	173,101千円
現金及び現金同等物	8,940,496千円	18,922,229千円

(株主資本等関係)

前中間連結会計期間(自 2024年 1月 1日 至 2024年 6月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年 3月28日 定時株主総会	普通株式	1,644,469	60.00	2023年12月31日	2024年 3月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年 7月31日 取締役会	普通株式	1,076,053	40.00	2024年 6月30日	2024年 9月 2日	利益剰余金

当中間連結会計期間(自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年 3月26日 定時株主総会	普通株式	1,948,420	73.00	2024年12月31日	2025年 3月27日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額73円には、創立75周年記念配当5円を含んでおります。

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年 7月31日 取締役会	普通株式	1,201,130	45.00	2025年 6月30日	2025年 9月 1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,099,016	664,672	2,783,424	1,115,605	18,662,719	-	18,662,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,433	8,897	-	40,168	50,499	50,499	-
計	14,100,450	673,569	2,783,424	1,155,774	18,713,218	50,499	18,662,719
セグメント利益又は セグメント損失()	5,805,080	463,739	1,799,330	69,617	7,210,289	678,061	6,532,227

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 678,061千円には、セグメント間取引消去9,133千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 687,195千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,547,859	682,290	3,021,828	1,046,670	19,298,649	-	19,298,649
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,309	10,516	-	70,189	83,015	83,015	-
計	14,550,168	692,806	3,021,828	1,116,860	19,381,664	83,015	19,298,649
セグメント利益又は セグメント損失()	6,206,779	502,917	2,007,615	117,375	7,828,853	749,138	7,079,714

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額 749,138千円には、セグメント間取引消去4,853千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 753,992千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

当社グループの事業セグメント別の収益を、顧客との契約及びその他の源泉から生じた収益に分解した情報は、以下のとおりであります。

前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				計
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	
顧客との契約から生じた収益	1,050,371	633,496	64,828	587,408	2,336,104
その他の源泉から生じた収益	13,048,644	31,176	2,718,596	528,197	16,326,614
計	14,099,016	664,672	2,783,424	1,115,605	18,662,719

(注) その他の源泉から生じた収益には企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入が含まれております。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				計
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	
顧客との契約から生じた収益	1,112,642	651,144	68,134	352,895	2,184,816
その他の源泉から生じた収益	13,435,216	31,146	2,953,693	693,775	17,113,832
計	14,547,859	682,290	3,021,828	1,046,670	19,298,649

(注) その他の源泉から生じた収益には企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入が含まれております。

(1株当たり情報)

1株当たり中間純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり中間純利益	164円81銭	180円79銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する中間純利益(千円)	4,487,249	4,825,578
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 中間純利益(千円)	4,487,249	4,825,578
普通株式の期中平均株式数(株)	27,226,574	26,691,004

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

2025年7月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

中間配当による配当金の総額	1,201,130千円
1株当たりの金額	45円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2025年9月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の中間連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年8月14日

東京都競馬株式会社
取締役会 御中

監査法人日本橋事務所
東京都中央区

指定社員 業務執行社員	公認会計士	新 藤 弘 一
指定社員 業務執行社員	公認会計士	森 岡 健 二
指定社員 業務執行社員	公認会計士	竹 節 裕 二

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東京都競馬株式会社の2025年1月1日から2025年12月31日までの連結会計年度の中間連結会計期間（2025年1月1日から2025年6月30日まで）に係る中間連結財務諸表、すなわち、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の中間連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、東京都競馬株式会社及び連結子会社の2025年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間連結会計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「中間連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

中間連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して中間連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき中間連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から中間連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析の手續その他の期中レビュー手續を実施する。期中レビュー手續は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手續である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、中間連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において中間連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 中間連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、中間連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社(半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは期中レビューの対象には含まれていません。